

IHI の LiDAR 技術で生成した交通流データによって、安全・安心なモビリティ社会の早期実現に貢献します

MaaS (Mobility as a Service) や CASE (Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric) といったトレンドに代表される新たなモビリティ社会が到来しようとしている。三次元レーザレーダで交通安全に貢献してきた IHI が思い描く近未来のモビリティ社会の実現に向けた取り組みを紹介する。

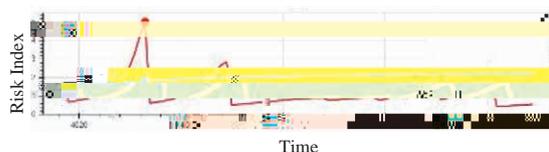
(a) LiDAR

(c) 交差点付近の上空写真

○ : 自動車
△ : 二輪車

(b) ビデオカメラ

(d) リスクインデックス



ヒヤリハットシーン抽出・解析の例

モビリティ社会の未来

近年、MaaS と関連が深く CASE でも取り上げられる自動運転技術の開発が、世界中で盛んに行われている。我が国でも普通乗用車の段階的な自動運転をはじめ、大型バスの自動運転や高速道路上での大型トラックの後続無人隊列走行など、さまざまな自動運転

なシーン抽出・解析の例
IHI で

は、これまで LiDAR (Light Detection And Ranging) を使用した交通安全支援システムを開発し、さまざまな場所へ導入している。これまで培ってきた技術を基

